

3. 主要施策の概要

I 安心・支えあい最優先

市民の安全・安心の確保と、地域の支えあいを醸成していく取り組みを進める。

1. 「災害に強い箕面」の実現 【予算額 100,507 千円】

- 自治会など地域コミュニティの活動拠点となる公園15か所を「地域防災ステーション」として整備する。消火器やジャッキなどの消火・救助用資器材を配備するとともに、市民の防災意識の向上を図る。
- 木造住宅の耐震診断を「無料化」する。また、耐震設計、耐震工事に必要な費用を一部助成する。

2. 市立病院における医療の充実 【予算額 473,060 千円】

- リハビリテーション科医など医療スタッフを増員するほか、MR I 装置を2台に増設、内視鏡手術機器などを整備し、診療体制を充実する。
- 「市立病院改革プラン」に基づき収益の向上に努め、前年度から1億2千万円の赤字を圧縮する。（「市立病院改革プラン」策定から新年度までの4年間で約8億4千万円の赤字圧縮を達成）

3. 子宮頸がん等のワクチン接種の無料実施と無料がん検診の継続 【予算額 634,956 千円】

- 新年度より法定接種化される、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌の3種のワクチン接種を無料で実施する。
- 府内唯一であるがん検診の無料実施を継続する。（胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん及び前立腺がん）

4. 消防・救急体制の充実 【予算額 97,983 千円】

- 箕面北部地域をカバーする新・消防庁舎の共同整備（豊能町）、35m級はしご車の共同運用（豊中市）、消防車両3台のリニューアルなどによる消防力の強化、救急用資器材の整備による救命力の強化を図る。また、新年度中に消防・救急無線のデジタル化を完了する。（平成24年度補正予算対応）

5. 歩行者・自転車の安全対策の強化・拡充 【予算額 141,632 千円】

- 通学路の歩道整備、通学自転車道の整備、交差点カラー舗装など道路の安全対策を強化する。また、スタントマンが事故を実演する安全教育の実施や、箕面警察署による自転車安全啓発などを強化する。

6. 防犯灯のLED化の促進 【予算額 41,800 千円】

- 平成26年度までの限定で自治会のLED防犯灯改修に対する補助率を大幅拡大する。平成24年度にLED化率75%を達成したため、新年度中にLED化率100%をめざし、新設・増設も促進する。

II 子育てしやすさ日本一

子育てがしやすく、子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境を整える。

1. 子どもの医療費助成の大幅拡大 【予算額 415,092 千円】

- 子どもの医療費助成の対象を入院・通院とも「中学校卒業まで（所得制限なし）」に大幅拡大し、全国でもトップクラスの水準（府内市（政令市を除く）では初めて）を実現する。

2. 小児インフルエンザ予防接種への助成制度創設 【予算額 19,339 千円】

- 地域で小児インフルエンザの流行を抑制するとともに重症化を予防するため、府内で実施例の少ない小児インフルエンザ予防接種への助成制度を創設する。

3. 子育て支援の充実 【予算額 768,048 千円】

保育所の整備

- 4月に箕面森町で定員70名の保育所を新規開設する。加えて、平成26年度オープンをめざして、市立病院の敷地に定員100名規模の新たな保育所を整備する。

私立幼稚園における長時間保育の拡大や支援教育の充実

- 早朝、夕方や夏休みなどの長期休業中も預かり保育を行う「子育て応援幼稚園」に通う園児の保護者等への市独自の大幅支援を継続し、私立幼稚園における長時間保育の拡大と支援教育の充実を図る。

4. 小中学校の全9学年を対象とした学力・体力・生活状況総合調査の実施 【予算額 22,141 千円】

- 小中学校の全9学年の全児童・生徒を対象とした学力・体力・生活状況総合調査（箕面子どもステップアップ調査）の継続実施により、子どもの成長にきめ細かく対応した教育を実現する。

5. 中学校給食の実施 【予算額 78,001 千円】

- 全中学校で、自校調理方式、完全給食かつ全員給食による給食を、2学期(8月末)からスタートする。

6. 教育環境の整備 【予算額 419,464 千円】

- 第五中学校のエレベータを整備し、2学期から稼動する。これにより全小中学校(22校)のエレベータ整備が完了。(府内では最速、全国でもトップレベルのスピード完了となる。)
- 箕面森町の人口増加にあわせて、小中一貫校「とどろみの森学園」を増築し、新たに11教室を整備する。
- 小学校2校の校長・副校長に、行政職員を登用し、学校の運営体制を強化する。

7. 学校施設を活用した放課後の居場所の確保 【予算額 43,368 千円】

- 小学校の放課後等に、学校が主体的に策定した様々な活動プログラムを、子どもたちが自由に選択して参加する「新放課後モデル事業」を小学校2校で先行スタートする。

III 緑・住みやすさ最先端

豊かな緑を守り、便利で住みやすく、元気で活力ある箕面をめざして、まちづくりを進める。

1. 箕面市版の「農業公社」の設立 【予算額 805 千円】

- “活きた農地”を持続・保全するため、「農業公社」を設立する。新年度は設立準備のため市の内部組織として「農業公社」を設け、農家に研修生を派遣し自ら耕す新たな農業者を育成する。

2. PFIによる箕面駅前第一駐車場・第二駐車場・駐輪場のリニューアル 【予算額 9,122 千円】

- 阪急箕面駅周辺の活性化と利便性の向上のため、老朽化した箕面駅前第一駐車場・駐輪場の建替えと、第二駐車場の大規模改修をPFI手法により実施する。新年度は、PFI事業者を決定し設計業務に着手する。

3. 桜井駅前地区の再整備 【予算額 3,916 千円】

- 阪急桜井駅前周辺の将来像を示す地区再生計画を策定するとともに、地権者との協議と技術的支援を進め、早期の駅前再整備を実現する。

4. 北大阪急行線の延伸と周辺のまちづくり 【予算額 合計 1,974,004 千円】

（平成24年度補正予算額 1,522,841 千円／平成25年度当初予算額 451,163 千円）

- 国の緊急経済対策（平成24年度補正予算）による大幅な支援措置と、競艇事業財源の活用により、合計約19億7千万円を予算化して事業化を進め、平成30年開通をめざす。
- 新年度は大阪府・鉄道事業者との事業化合意をめざし、実施設計に着手するほか、都市計画道路萱野東西線の整備を進める。（平成24年度補正予算対応）

5. オレンジゆずるバスの本格運行 【予算額 68,365 千円】

- 3年間の実証運行の成果を踏まえ、5月から平日（月曜日～土曜日）の本格運行をスタートする。また、新たに日曜日・祝日は買い物・レジャーを中心とした新ルートの実証運行もスタートする。

6. 新たな住民交流の核となる拠点施設のオープン 【予算額 101,686 千円】

- 7つめの図書館「小野原図書館」と「多文化交流センター」のオープン
- 新しいまち・小野原の拠点として、市内7つめの図書館となる「小野原図書館」、国際交流の核となる「多文化交流センター」などの複合施設を5月にオープンする。

「稲ふれあいセンター」のオープン

- 高齢者の活動の場「新・松寿荘」や子育て世代の「子育て支援センター」機能を含む「多世代交流センター」、養護老人ホーム「ゆずの郷」（新・永寿園）などの複合施設「稲ふれあいセンター」を4月にオープンする。

7. 市民サービスのさらなる向上 【予算額 83,408 千円】

- 5月から市役所（本庁）でのパスポートの発給業務をスタートする。
- 来年2月から市役所窓口の土曜日営業をスタートする。
- 軽自動車税及び国民健康保険料については5月から、上下水道料金については10月から、それぞれ自宅でのインターネットを利用したクレジットカード払いをスタートする。